

自己評価報告書

平成23年 4月 4日現在

機関番号：13701

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20530726

研究課題名（和文） 中国の教育バウチャーに関する実証的研究

研究課題名（英文） Study about Educational Boucher in China

研究代表者

篠原 清昭 (SHINOHARA KIYOAKI)

岐阜大学・教育学研究科・教授

研究者番号：20162612

研究分野：教育行政学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：教育バウチャー、中国、自由化、市場化、民主化

1. 研究計画の概要

中国における教育バウチャーの政策と実態を分析することを目的として、現地訪問調査を主な方法として検証を行った。

研究計画の概要は以下のものであった。

- ①中国の教育バウチャーに関する中国国内の先行研究及び関係資料の採集と分析。
- ②大陸の教育バウチャーの事例訪問調査
- ③台湾の教育バウチャーの事例訪問調査

2. 研究の進捗状況

現時点においてほぼ中国の教育バウチャーに関する文献分析や資料採集を終えた。また、訪問調査に関しても、大陸及び台湾の教育バウチャーの事例調査をほぼ完了した。

3. 現在までの達成度

大陸の教育バウチャーに関しては、浙江省長興県の訪問調査結果を中心に考察分析した結果を、拙著『中国における教育の市場化』（「第5章 教育バウチャー制度の導入」（105頁～128頁）ミネルヴァ書房 2009年10月）にまとめた。一方、台湾の教育バウチャーについては、拙論「台湾戒厳令解除後の民主化と教育バウチャー」（『岐阜大学教育学部研究報告（人文科学）』 199頁～223頁 2011年3月）にまとめた。

4. 今後の研究の推進方策

台湾の教育バウチャーに関して、2011年2月以降に大幅な制度変更が予定されていることから、引き続き政策を中心にその政策動向や課題を訪問調査により分析していく予定にしている。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計5件）

①篠原清昭、牛志「中日における学校の民営化」（中国文）『中国教育学会教育政策・法律専門委員会論文集』 中国教育学会 112頁～118頁 2009年 査読無。

②篠原清昭「中国における学校の民営化（1）」『教職研修』第439号 教育開発研究所 65頁～69頁 2010年 査読無

③篠原清昭、牛志「日本学校的民営化」（中国文）『中国教師』5月号 14頁～16頁 2010年 査読有

④篠原清昭「台湾における学校の民営化」『教職研修』第457号 教育開発研究所 41頁～44頁 2010年 査読無

⑤篠原清昭「台湾戒厳令解除後の民主化と教育バウチャー」『岐阜大学教育学部研究年報（人文科学）』第59巻2号 119頁～223頁。

〔学会発表〕（計2件）

①篠原清昭、牛志「中日学校民営化」 中国教育学会教育政策・法律専門委員会 中国教育学会 2009年10月11日 華南師範大学

②篠原清昭「亜細亜の学校民営化比較」台湾別類教育学会基調講演 2011年1月21日 政治大学

〔図書〕（計1件）

①篠原清昭『中国における教育の市場化』ミネルヴァ書房 全235頁 2009年

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

○取得状況（計 件）